

ドイツ文学専修

| 授業科目 | 講義題目 | 単位 | 担当教員氏名 | 開講 セメスター | 開講曜日・講時 | 平成30年度以前入学者 読替先授業科目 |
|------------|--------------------------------------|----|--------------|-------------|------------|------------------------|
| ドイツ語学概論Ⅰ | 中級ドイツ文法 | 2 | 嶋崎 啓 | 3 | 前期 月曜日 2講時 | |
| ドイツ語学概論Ⅱ | 中級ドイツ文法 | 2 | 嶋崎 啓 | 4 | 後期 月曜日 2講時 | |
| ドイツ文学概論Ⅰ | ドイツ文学史 | 2 | 嶋崎 啓 | 3 | 前期 水曜日 3講時 | |
| ドイツ文学概論Ⅱ | ドイツ文学史 | 2 | 嶋崎 啓 | 4 | 後期 水曜日 3講時 | |
| ドイツ文学基礎講読Ⅰ | ドイツ語スキルアップ | 2 | NARROG HEIKO | 3 | 前期 火曜日 1講時 | |
| ドイツ文学基礎講読Ⅱ | ドイツ語スキルアップ | 2 | NARROG HEIKO | 4 | 後期 火曜日 1講時 | |
| ドイツ語学各論 | ドイツ語の詩を読む | 2 | NARROG HEIKO | 6 | 後期 金曜日 2講時 | |
| ドイツ語学各論 | より楽にドイツ語を読む ために | 2 | 菊池 克己 | 6 | 後期 火曜日 4講時 | |
| ドイツ文学各論Ⅰ | ドイツ(語)文化圏として の中欧の文化と歴史 (15) | 2 | 佐藤 雪野 | 5 | 前期 火曜日 5講時 | |
| ドイツ文学各論Ⅱ | ドイツ(語)文化圏として の中欧の文化と歴史 (16) | 2 | 佐藤 雪野 | 6 | 後期 火曜日 5講時 | |
| ドイツ文学各論Ⅲ | ルーマニアのユダヤ系 詩人たちによるホロ コーストの詩的表象 | 2 | 藤田 恭子 | 5 | 前期 金曜日 3講時 | |
| ドイツ文学各論Ⅳ | ドイツ語の散文作品を 読む | 2 | 藤田 恭子 | 6 | 後期 金曜日 3講時 | |
| ドイツ語学演習Ⅰ | ドイツ語学演 | 2 | NARROG HEIKO | 5 | 前期 木曜日 3講時 | |
| ドイツ語学演習Ⅱ | ドイツ語学演習 | 2 | NARROG HEIKO | 6 | 後期 木曜日 3講時 | |
| ドイツ文学演習Ⅰ | 中世ドイツ文学 | 2 | 嶋崎 啓 | 5 | 前期 月曜日 4講時 | |
| ドイツ文学演習Ⅱ | 中世ドイツ文学 | 2 | 嶋崎 啓 | 6 | 後期 月曜日 4講時 | |
| ドイツ文学演習Ⅲ | カフカを読む(1) | 2 | 森本 浩一 | 5 | 前期 金曜日 4講時 | |
| ドイツ文学演習Ⅳ | カフカを読む(2) | 2 | 森本 浩一 | 6 | 後期 金曜日 4講時 | |

科目名：ドイツ語学概論 I / German Linguistics (General Lecture) I

曜日・講時：前期 月曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB31202, 科目ナンバリング：LHM-LIT206J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中級ドイツ文法
2. Course Title (授業題目)：Intermediate German Grammar
3. 授業の目的と概要：初級のドイツ文法では習わない事項を取り上げ、ドイツ語の文法をより深く理解することを目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Der Unterricht orientiert sich daran, verschiedene Themen, die in der grundlegenden Grammatik normalerweise nicht berücksichtigt werden, in Betracht zu ziehen und die deutsche Grammatik besser kennenzulernen.
5. 学習の到達目標：ドイツ語文法の理解を深め、ドイツ語をより正しく読み、書くことができるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Ziel des Unterrichts ist, die deutsche Grammatik besser zu verstehen und deutsche Sätze besser lesen und schreiben zu können.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 ガイダンス
 - 2 非人称の es (1)
 - 3 非人称の es (2)
 - 4 人称代名詞
 - 5 指示代名詞
 - 6 不定代名詞
 - 7 関係代名詞 (1)
 - 8 関係代名詞 (2)
 - 9 命令表現 (1)
 - 10 命令表現 (2)
 - 11 不定詞 (1)
 - 12 不定詞 (2)
 - 13 分詞 (1)
 - 14 分詞 (2)
 - 15 分詞 (3)
8. 成績評価方法：

レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]
9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。必ず辞書を持参すること。
参考書：関口存男『新ドイツ語文法教程』(三省堂)
10. 授業時間外学習：復習が重要である。講義の内容理解を確かめる課題のレポートを提出してもらう。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ドイツ語学概論Ⅱ／ German Linguistics (General Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 2講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB41202, 科目ナンバリング：LHM-LIT207J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中級ドイツ文法
2. Course Title (授業題目)：Intermediate German Grammar
3. 授業の目的と概要：初級のドイツ文法では習わない事項を取り上げ、ドイツ語の文法をより深く理解することを目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Der Unterricht orientiert sich daran, verschiedene Themen, die in der grundlegenden Grammatik normalerweise nicht berücksichtigt werden, in Betracht zu ziehen und die deutsche Grammatik besser kennenzulernen.
5. 学習の到達目標：ドイツ語文法の理解を深め、ドイツ語をより正しく読み、書くことができるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Ziel des Unterrichts ist, die deutsche Grammatik besser zu verstehen und deutsche Sätze besser lesen und schreiben zu können.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 ガイダンス
 - 2 分離動詞・非分離動詞 (1)
 - 3 分離動詞・非分離動詞 (2)
 - 4 受動態 (1)
 - 5 受動態 (2)
 - 6 再帰動詞 (1)
 - 7 再帰動詞 (2)
 - 8 機能動詞 (1)
 - 9 機能動詞 (2)
 - 10 接続詞 (1)
 - 11 接続詞 (2)
 - 12 語順 (1)
 - 13 語順 (2)
 - 14 格の用法 (1)
 - 15 格の用法 (2)
8. 成績評価方法：

レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]
9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。必ず辞書を持参すること。
参考書：関口存男『新ドイツ語文法教程』(三省堂)
10. 授業時間外学習：復習が重要である。講義の内容理解を確かめる課題のレポートを提出してもらう。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ドイツ文学概論 I / German Literature (General Lecture) I

曜日・講時：前期 水曜日 3 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB33302, 科目ナンバリング：LHM-LIT204J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ文学史
2. Course Title (授業題目)：History of German Literature
3. 授業の目的と概要：9 世紀から現代までのドイツ文学の歴史を概観する。ドイツ文学の主要な作品を紹介する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In dieser Vorlesung handelt es sich um die Geschichte der deutschen Literatur vom 9. Jahrhundert bis zur Moderne. Dabei werden wichtige Werke der deutschen Literatur vorgestellt.
5. 学習の到達目標：ドイツ文学の歴史の概要を知る。ドイツ文学の主要な作品の内容を知る。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Ziel der Vorlesung ist, die grundlegende Geschichte der deutschen Literatur und die Inhalte der wichtigen Werke kennen zu lernen.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
 - 1 ガイダンス
 - 2 古高ドイツ語期の文学 (1)
 - 3 古高ドイツ語期の文学 (2)
 - 4 中世文学 (1)
 - 5 中世文学 (2)
 - 6 中世文学 (3)
 - 7 中世文学 (4)
 - 8 初期新高ドイツ語期の文学 (1)
 - 9 初期新高ドイツ語期の文学 (2)
 - 10 初期新高ドイツ語期の文学 (3)
 - 11 バロック期の文学
 - 12 啓蒙主義
 - 13 ゲーテ時代 (1)
 - 14 ゲーテ時代 (2)
 - 15 ゲーテ時代 (3)
8. 成績評価方法：

レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]
9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。

参考書：手塚富雄・神品芳夫「増補ドイツ文学案内」(岩波文庫)、柴田翔編著「はじめて学ぶドイツ文学史」(ミネルヴァ書房)、
畠山寛他編「ドイツ文学の道しるべ」(ミネルヴァ書房)
10. 授業時間外学習：最も大事なことは自分で実際に作品を読むことです。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ドイツ文学概論Ⅱ／ German Literature (General Lecture)II

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB43302, 科目ナンバリング：LHM-LIT205J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ文学史
2. Course Title (授業題目)：History of German Literature
3. 授業の目的と概要：9世紀から現代までのドイツ文学の歴史を概観する。ドイツ文学の主要な作品を紹介する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In dieser Vorlesung handelt es sich um die Geschichte der deutschen Literatur vom 9. Jahrhundert bis zur Moderne. Dabei werden wichtige Werke der deutschen Literatur vorgestellt.
5. 学習の到達目標：ドイツ文学の歴史の概要を知る。ドイツ文学の主要な作品の内容を知る。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Ziel der Vorlesung ist, die grundlegende Geschichte der deutschen Literatur und die Inhalte der wichtigen Werke kennen zu lernen.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 ガイダンス
 - 2 ロマン主義 (1)
 - 3 ロマン主義 (2)
 - 4 ロマン主義 (3)
 - 5 三月前期 (1)
 - 6 三月前期 (2)
 - 7 19世紀後半の文学 (1)
 - 8 19世紀後半の文学 (2)
 - 9 19世紀後半の文学 (3)
 - 10 20世紀前半の文学 (1)
 - 11 20世紀前半の文学 (2)
 - 12 20世紀前半の文学 (3)
 - 13 戦後の文学 (1)
 - 14 戦後の文学 (2)
 - 15 児童文学
8. 成績評価方法：

レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]
9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。

参考書：手塚富雄・神品芳夫「増補ドイツ文学案内」(岩波文庫)、柴田翔編著「はじめて学ぶドイツ文学史」(ミネルヴァ書房)、
畠山寛他編「ドイツ文学の道しるべ」(ミネルヴァ書房)
10. 授業時間外学習：最も大事なことは自分で実際に作品を読むことです。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ドイツ文学基礎講読 I / German Linguistics (General Lecture) II

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB32102, 科目ナンバリング：LHM-LIT219J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語スキルアップ

2. Course Title (授業題目)：Improving German language skills

3. 授業の目的と概要：全学教育で身についたドイツ語能力を安定させ、発展させる。

ドイツ語圏文化と習慣に触れ、テーマに沿って語彙を増やせ文章の理解力や表現力を高める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Stabilize and develop German language skills acquired in the first year.

Learn about cultural aspects of German language countries, and acquire skills of expression corresponding to the topics discussed.

5. 学習の到達目標：A2 レベル程度のドイツ語力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Acquiring A2 level German language skills

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業説明

受講者のドイツ語能力確認

2. Im Restaurant I

3. Im Restaurant II

4. Im Restaurant III

5. Im Hotel I

6. Im Hotel II

7. Im Hotel III

8. In der Stadt I

9. In der Stadt II

10. In der Stadt III

11. Reise und Verkehr I

12. Reise und Verkehr II

13. Reise und Verkehr III

14. Wetter I

15. Wetter II, 授業到達目標確認

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力の時時点では未定で、学期初めに決まります。そのとき Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

8. 成績評価方法：

毎回の参加、課題、宿題。最終回試験。

9. 教科書および参考書：

Szenen 2 ワークブック付き (生協文型店で入手可)

10. 授業時間外学習：毎回の課題

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

この授業の課題等は、Google Classroom 上で運営さえる

科目名：ドイツ文学基礎講読Ⅱ／ German Linguistics (General Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB42103, 科目ナンバリング：LHM-LIT220J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語スキルアップ
2. Course Title (授業題目)：Improving German Language Skills
3. 授業の目的と概要：全学教育で身についたドイツ語能力を安定させ、発展させる。
ドイツ語圏文化と習慣に触れ、テーマに沿って語彙を増やせ文章の理解力や表現力を高める。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Stabilize and expand on the German language proficiency acquired during the first year of general education.
Encounter language and culture in German-speaking countries, add vocabulary, improve reading ability and ability of self-expression.
5. 学習の到達目標：A2 レベル程度のドイツ語力を身につける。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Acquire German language skills at the A2~B1 level of the Common European Framework of Reference for Languages.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 授業説明
受講者のドイツ語能力確認
 2. Wetter II
 3. Wetter III
 4. Gesundheit und Körperpflege I
 5. Gesundheit und Körperpflege II
 6. Gesundheit und Körperpflege III
 7. Geschenke und Einladungen I
 8. Geschenke und Einladungen II
 9. Geschenke und Einladungen III
 10. Lebenslauf und Schulsystem I
 11. Lebenslauf und Schulsystem II
 12. Lebenslauf und Schulsystem III
 13. Müll und Umwelt I
 14. Müll und Umwelt II
 15. 授業到達目標確認

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードはシラバス入力の時時点では未定で、学期初めに決まります。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。
8. 成績評価方法：

毎回の参加、課題、宿題。最終回試験。
9. 教科書および参考書：

佐藤修子他著. Szenen 2 ワークブック付き. 三修社
10. 授業時間外学習：毎回の宿題
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
本シラバスは、対面授業が行われることを前提に作成されている。
もし遠隔で行われることになった場合、それに合わせて授業内容と方法が変わる場合がある。

科目名：ドイツ語学各論／ German Linguistics (Special Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB65202, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語の詩を読む
2. Course Title (授業題目)：Reading German poetry
3. 授業の目的と概要：詩を通してドイツ語圏文学について学び、同時にドイツ語のリズムとイントネーションについても学ぶ
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Learning about German literature through German poetry and simultaneously learn about German-language rhythm and intonation
5. 学習の到達目標：ドイツ語の詩について基礎的に理解し、ドイツ語の発音及びリズム・イントネーションスキルを向上させる
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Gain a basic understanding of German language poetry and improve one's pronunciation and intonation skills in German.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
古典時代の18世紀後半から20世紀前半にかけて代表的なドイツ語圏の詩人の詩を読んで、その一部を暗記する。

第1～第3週 シラー
第4～第6週 ゲーテ
第7～第9週 ヘルダーリン
第10～第12週 アイヒェンドルフ
第13～第15週 リルケ

ただし、参加者のドイツ語力や関心に合わせて異なるものを読む場合もある
8. 成績評価方法：
授業参加と毎回の課題・宿題に基いて評価する
9. 教科書および参考書：
授業時に指示
10. 授業時間外学習：毎回の課題
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：ドイツ語学各論／ German Linguistics (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：菊池 克己

コード：LB62404, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：より楽にドイツ語を読むために

2. Course Title (授業題目) : Reading German at more ease

3. 授業の目的と概要：細部まで深く掘り下げる「精読」よりも、大雑把でもたくさん読む「多読」のほうが、効果的に外国語が身につくと多くの人が指摘する。しかし、単語や文法をハードルに感じてしまい、なかなか踏み出せなかったり、やり方がわからない人も多い。

そこで、文法を再確認するとともに、「多読」的な読み方を例示するために、簡単に（おそらく辞書なしで）読めるドイツ語の文法書を最初に取り上げる（Die Grundschulgrammatik, Dudenverlag を予定）。これを導入として、以降は各自が、DaF の読み物、絵本・児童書、マンガ、ネットの記事などから好きなものを選び、「多読」に挑戦する。

それを通して、気楽にドイツ語に触れ、楽しむための自分なりのスタイルを見つけることが、授業の目的となる。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : It is often pointed out that “extensive reading” is a more effective way to learn a foreign language than “close reading”. However, many people find vocabulary and grammar to be hurdles and find it difficult to get started or do not know how to do it.

Therefore, in order to review grammar and show an example of extensive reading, we will start with a German grammar book that can be read easily. After this introduction, each student will choose from DaF reading materials, children’s books, manga, online articles, etc. and try extensive reading.

The purpose of the class is to help students find their own style of learning and enjoying German.

5. 学習の到達目標：・ドイツ語に対する心理的なハードルを下げる

- ・ドイツ語を気楽に読める自分なりのスタイルを見つける
- ・ドイツ語を読む頻度と量を増やす

6. Learning Goals (学修の到達目標) : The goals of this course are to

- lower psychological hurdles to German
- find your own style to read German at ease
- Increase the amount and frequency of reading German

7. 授業の内容・方法と進度予定：

自分に合う本を自分で選び、自分のペースで読む。その感想などを簡単に記録する。また、自分が読んだ本を紹介し、情報交換する。

1 オリエンテーション：多読とは何か？

2 多読実践 1

3 多読実践 2

4 多読実践 3

5 多読実践 4

6 多読実践 5

7 多読実践 6

8 ここまでの感想、自分の多読を発展・深化させるために目標を立てる

9 多読実践 7

10 多読実践 8

11 多読実践 9

12 多読実践 10

13 多読実践 11

14 多読実践 12

15 読書経験を振り返って

8. 成績評価方法：

平常点 [100%]

9. 教科書および参考書：

教室で指示

10. 授業時間外学習：隙間時間を利用するなど、自分で本を選んで多読に取り組む。訳読ではなくドイツ語での「読書」を習慣化する努力を。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：ドイツ文学各論 I / German Literature I

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

semester：5 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LB52501, 科目ナンバリング：LHM-LIT306J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (15)

2. Course Title (授業題目)：Culture and History of Central Europe as a German Cultural Sphere (15)

3. 授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほか、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides students knowledge of history and culture of German speaking area, especially outside of today's Germany.

For this purpose we will discuss on multi-cultural Prague, also as a German cultural sphere.

Besides lectures we will read a German text in order to improve the students' ability of German language.

5. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students will understand history and culture of German speaking area.

2. Students will develop skills to read German academic text.

3. Students will be able to present their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

対面授業を原則とする。

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. プラハの歴史
3. ボヘミアとドイツ人
4. プラハとユダヤ人
5. プラハのドイツ文学
6. レンカ・ライネロヴァーとプラハ
7. Zu Hause in Prag 1
8. Zu Hause in Prag 2
9. Zu Hause in Prag 3
10. Zu Hause in Prag 4
11. Zu Hause in Prag 5
12. Zu Hause in Prag 6
13. Zu Hause in Prag 7
14. Zu Hause in Prag 8
15. まとめ

8. 成績評価方法：

平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリント配布

その他の参考書は授業中に指示する。

Text will be provided at the class. Reference books will be introduced at the class.

10. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

The further information for the lecturer will be given in class.

科目名：ドイツ文学各論Ⅱ／ German Literature II

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

semester：6 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LB62501, 科目ナンバリング：LHM-LIT307J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (16)

2. Course Title (授業題目)：Culture and History of Central Europe as a German Cultural Sphere (16)

3. 授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。

講義のほか、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides students knowledge of history and culture of German speaking area, especially outside of today's Germany.

For this purpose we will discuss on multi-cultural Prague, also as a German cultural sphere.

Besides lectures we will read a German text in order to improve the students' ability of German language.

5. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students will understand history and culture of German speaking area.

2. Students will develop skills to read German academic text.

3. Students will be able to present their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

対面授業を原則とする。

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. エゴン・エルヴィン・キッシュとプラハ
3. ホロコーストとプラハ
4. Aus Prager Gassen und Nächten 1
5. Aus Prager Gassen und Nächten 2
6. Aus Prager Gassen und Nächten 3
7. Aus Prager Gassen und Nächten 4
8. Aus Prager Gassen und Nächten 5
9. Aus Prager Gassen und Nächten 6
10. Aus Prager Gassen und Nächten 7
11. Aus Prager Gassen und Nächten 8
12. Aus Prager Gassen und Nächten 9
13. Aus Prager Gassen und Nächten 10
14. Aus Prager Gassen und Nächten 11
15. まとめ

8. 成績評価方法：

平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリント配布。

その他の参考書は授業中に指示する。

Text will be provided at the classroom. Reference books will be introduced at the class.

10. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

The further information for the lecturer will be given in class.

科目名：ドイツ文学各論Ⅲ／ German LiteratureⅢ

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：藤田 恭子

コード：LB55301, 科目ナンバリング：LHM-LIT308J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ルーマニアのユダヤ系詩人たちによるホロコーストの詩的表象
2. Course Title (授業題目)：Holocaust-Gedichte von Jüdischen Dichter*innen aus Rumänien
3. 授業の目的と概要：詩のテキストを厳密に読み、凝縮された言語表現の理解を学ぶ。その際、詩のテキスト解釈を補強するべく、詩人の他のテキストや二次文献を読む。背景知識としてルーマニアにおけるナチズム受容の歴史を知る。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In diesem Seminar wird durch die genaue Lektüre von Gedichten das Verstehen der verdichteten sprachlichen Ausdrücken geübt. Dabei werden auch andere Texte der Dichter*innen sowie Sekundärliteratur eingesetzt, um ihre Gedichte überzeugender zu interpretieren. Als geschichtliche Hintergründe der Gedichte wird über die Geschichte des Nationalsozialismus in Rumänien informiert.
5. 学習の到達目標：ドイツ語による詩を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Kennenlernen der Methodologie, Gedichte in deutscher Sprache unter Einbeziehung des sprachlichen und zeitlichen Kontexts zu interpretieren.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
オーストリア帝国領からルーマニア領となったブコヴィナ出身のユダヤ系詩人たちのテキストを取り上げる。彼らの自伝的エッセイや二次文献の一部も読み、そのうえで再度、詩のテキストを読み直す。

第1回 導入
第2回 ルーマニアにおけるドイツ語話者の歴史
第3回 ルーマニアにおけるナチズム
第4回 ホロコーストをテーマとする詩 (1)
第5回 ホロコーストをテーマとする詩 (2)
第6回 自伝的エッセイ (1)
第7回 自伝的エッセイ (2)
第8回 自伝的エッセイ (3)
第9回 二次文献 (1)
第10回 二次文献 (2)
第11回 二次文献 (3)
第12回 二次文献 (4)
第13回 ホロコーストをテーマとする詩 (3)
第14回 ホロコーストをテーマとする詩 (4)
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
平常点 (出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加)
9. 教科書および参考書：
プリントを配付する。Texte werden im Voraus verteilt.
10. 授業時間外学習：事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。
Lesen und verstehen der im Voraus verteilten Texte wird vorausgesetzt.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー
Kommunikation außerhalb des Unterrichts (Verteilung von Texten, Einreichung von Hausaufgaben, etc.) findet über Google Classroom statt. Die Kontaktadresse der Lehrkr

科目名：ドイツ文学各論Ⅳ／ German Literature IV

曜日・講時：後期 金曜日 3講時

Semester：6 単位数：2

担当教員：藤田 恭子

コード：LB65301, 科目ナンバリング：LHM-LIT309J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語の散文作品を読む
2. Course Title (授業題目)：Deutsche Prosa lesen
3. 授業の目的と概要：散文テクストを読み、また著者の自伝的テクストや二次文献を読んで、多様な解釈の可能性を知る。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In dieser Klasse wird geübt, Prosatexte genau zu lesen. Dabei werden auch autobiografische Texte der Schriftstellerin sowie Sekundärliteratur über sie eingesetzt, um die Texte überzeugender zu interpretieren..
5. 学習の到達目標：ドイツ語による散文を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Kennenlernen der Methodologie, Prosatexte in deutscher Sprache unter Einbeziehung des sprachlichen und zeitlichen Kontexts zu interpretieren.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
2009年度ノーベル文学賞を受賞したヘルタ・ミュラー (Herta Müller, 1953-)のテクストを取り上げる。彼女の自伝的エッセイや二次文献の一部も読む。

第1回 導入

第2回 ヘルタ・ミュラーの小説 (1)

第3回 ヘルタ・ミュラーの小説 (2)

第4回 ヘルタ・ミュラーの小説 (3)

第5回 ヘルタ・ミュラーの小説 (4)

第6回 ヘルタ・ミュラーの小説 (5)

第7回 ヘルタ・ミュラーの小説 “ (6)

第8回 ヘルタ・ミュラーの小説 (7)

第9回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (1)

第10回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (2)

第11回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (3)

第12回 二次文献 (1)

第13回 二次文献 (2)

第14回 二次文献 (3)

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

平常点 (出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加)

9. 教科書および参考書：

プリントを配付する。

Texte werden im Voraus verteilt.

10. 授業時間外学習：事前に配付したドイツ語テクストを予習し、読解すること。

Lesen und verstehen der im Voraus verteilten Texte wird vorausgesetzt.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

このクラスではGoogle Classroomを用いて、授業連絡などを行う。

教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

Kommunikation außerhalb des Unterrichts (Verteilung von Texten, Einreichung von Hausaufgaben, etc.) findet über Google Classroom statt. Die Kontaktadresse der Lehr

科目名：ドイツ語学演習 I / German Linguistics (Seminar) I

曜日・講時：前期 木曜日 3 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB54302, 科目ナンバリング：LHM-LIT327J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語学演
2. Course Title (授業題目)：German Linguistics (Seminar)
3. 授業の目的と概要：2 年間養ったドイツ語能力をヨーロッパ基準の中級教材を用いて更に安定させて高める。
読む・書く・聞く・話すの基礎的能力を体系的に向上させる。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Stabilize and improve on the German language proficiency acquired during the first two years of university education.
Systematically develop skills in reading, writing, listening and speaking.
5. 学習の到達目標：B1~B2 レベルのドイツ語を身につける
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Achieve German language proficiency at B1~B2 level of the Common European Framework of Reference for Languages.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. Gesundheit I - Beschwerden nennen
 2. Gesundheit II - Witz erzählen
 3. Gesundheit III - Bild beschreiben
 4. Gesundheit IV - Text zusammenfassen
 5. Gesundheit V - Gedicht
 6. Gesundheit VI - Orthographie
 7. Gesundheit VII - Lange und kurze Vokale
 8. Gesundheit VIII - Passiv
 9. Gesundheit IX - Relativsatz
 10. Gesundheit X - Konjunktiv
 11. Klima I - Wettererscheinungen benennen
 12. Klima II - Geschichte zu Bildern erfinden
 13. Klima III - Pro und Kontra Diskussion
 14. Klima IV - literarischer Text
 15. Klima V - Erlebnisbericht
8. 成績評価方法：
授業参加、毎回の課題、宿題に基づいて評価する
9. 教科書および参考書：
Stufen International 2
10. 授業時間外学習：毎回の課題・宿題
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：ドイツ語学演習Ⅱ／ German Linguistics (Seminar)II

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB64302, 科目ナンバリング：LHM-LIT328J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語学演習
2. Course Title (授業題目)：German Linguistics (Seminar)
3. 授業の目的と概要：2年間養ったドイツ語能力をヨーロッパ基準の中級教材を用いて更に安定させて高める。読む・書く・聞く・話すの基礎的能力を体系的に向上させる。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Stabilize and improve on the German language proficiency acquired during the first two years of university education. Systematically develop skills in reading, writing, listening and speaking.
5. 学習の到達目標：B1～B2 レベルのドイツ語を身につける
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Achieve German language proficiency at B1～B2 level of the Common European Framework of Reference for Languages
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. Klima VI - Brief
 2. Klima VII - Wortakzent und Satzakzent
 3. Klima VIII - Präpositionen
 4. Klima IX - Komparation
 5. Klima X - Plusquamperfekt
 6. Etikette I - Höflichkeitsregeln
 7. Etikette II - Parabeln
 8. Etikette III - Rollenspiel
 9. Etikette IV - Ausdruck der Bewegungsrichtung
 10. Etikette V - Hörverstehen Interview
 11. Etikette VI - Gedicht
 12. Etikette VII - Satzakzent und Rhythmus
 13. Etikette VIII - Konjunktiv II
 14. Etikette IX - Verben mit Präpositionen
 15. Etikette X - Nominalisierungen
8. 成績評価方法：

授業参加、毎回の課題、宿題に基づいて評価する
9. 教科書および参考書：

Stufen International 2
10. 授業時間外学習：毎回の課題・宿題
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ドイツ文学演習 I / German Literature (Seminar) I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB51404, 科目ナンバリング：LHM-LIT323J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中世ドイツ文学

2. Course Title (授業題目)：Medieval German Literature

3. 授業の目的と概要：現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかに北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In diesem Seminar handelt es sich um die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur als Quelle der modernen Literatur und um ihre Eigenschaften.

In der modernen Literatur ist nicht selten die Liebe das Thema, aber die Liebe wurde erst im 12. Jahrhundert thematisiert, das Thema davor war am meisten das Christentum. Die literarische Liebe basierte sich aber auch auf dem Glauben an den Gott, die Liebe zwischen Menschen war also erhaben. Solche hohe Liebe wurde aber allmählich säkularisiert, indem die ritterliche Kultur verfiel und die bürgerliche Gesellschaft sich erhebe. In dem Seminar soll also auch berücksichtigt werden, dass die Teilnehmer sich mit der Kultur und Gesellschaft im Mittelalter vertraut machen und gelegentlich auch bessere Kenntnisse über den Zusammenhang mit der nordischen Legenden erwerben können.

5. 学習の到達目標：中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Ziel des Unterrichts ist, dass man die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur und deren Eigenschaften kennen lernt und Texte im Mittelhochdeutsch lesen und den Inhalt verstehen kann.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 ガイダンス

2 中高ドイツ語入門 1 (発音)

3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)

4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)

5 中高ドイツ語文学講読 1 (1713-1714)

6 中高ドイツ語文学講読 2 (1715-1716)

7 中高ドイツ語文学講読 3 (1717-1719)

8 中高ドイツ語文学講読 4 (1720-1722)

9 中高ドイツ語文学講読 5 (1723-1725)

10 中高ドイツ語文学講読 6 (1726-1729)

11 中高ドイツ語文学講読 7 (1730-1733)

12 中高ドイツ語文学講読 8 (1734-1737)

13 中高ドイツ語文学講読 9 (1738-1740)

14 中高ドイツ語文学講読 10 (1741-1744)

15 中高ドイツ語文学講読 11 (1745-1748)

8. 成績評価方法：

平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

10. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：ドイツ文学演習Ⅱ／ German Literature (Seminar)II

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB61404, 科目ナンバリング：LHM-LIT324J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中世ドイツ文学

2. Course Title (授業題目)：Medieval German Literature

3. 授業の目的と概要：現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかに北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In diesem Seminar handelt es sich um die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur als Quelle der modernen Literatur und um ihre Eigenschaften.

In der modernen Literatur ist nicht selten die Liebe das Thema, aber die Liebe wurde erst im 12. Jahrhundert thematisiert, das Thema davor war am meisten das Christentum. Die literarische Liebe basierte sich aber auch auf dem Glauben an den Gott, die Liebe zwischen Menschen war also erhaben. Solche hohe Liebe wurde aber allmählich säkularisiert, indem die ritterliche Kultur verfiel und die bürgerliche Gesellschaft sich erhebe. In dem Seminar soll also auch berücksichtigt werden, dass die Teilnehmer sich mit der Kultur und Gesellschaft im Mittelalter vertraut machen und gelegentlich auch bessere Kenntnisse über den Zusammenhang mit der nordischen Legenden erwerben können.

5. 学習の到達目標：中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Ziel des Unterrichts ist, dass man die Geschichte der deutschen mittelalterlichen Literatur und deren Eigenschaften kennen lernt und Texte im Mittelhochdeutsch lesen und den Inhalt verstehen kann.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 ガイダンス

2 中高ドイツ語入門 1 (発音)

3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)

4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)

5 中高ドイツ語文学講読 1 (1749-1750)

6 中高ドイツ語文学講読 2 (1751-1752)

7 中高ドイツ語文学講読 3 (1753-1755)

8 中高ドイツ語文学講読 4 (1756-1758)

9 中高ドイツ語文学講読 5 (1759-1761)

10 中高ドイツ語文学講読 6 (1762-1765)

11 中高ドイツ語文学講読 7 (1766-1769)

12 中高ドイツ語文学講読 8 (1770-1773)

13 中高ドイツ語文学講読 9 (1774-1777)

14 中高ドイツ語文学講読 10 (1778-1781)

15 中高ドイツ語文学講読 11 (1782-1785)

8. 成績評価方法：

平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

10. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：ドイツ文学演習Ⅲ／ German Literature (Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：森本 浩一

コード：LB55404, 科目ナンバリング：LHM-LIT325J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：カフカを読む (1)
2. Course Title (授業題目)：Reading Kafka (1)
3. 授業の目的と概要：フランツ・カフカ (Franz Kafka: 1883-1924) の小説をテキストとして、ドイツ文学作品を原文で読解・解釈する訓練を行います。映画化された作品も鑑賞する予定です。文学研究や他の関連する話題に関する簡単な講義なども行いたいと考えています。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students improve the ability to read and interpret the literary text written in German, by the practice of close reading of Franz Kafka's fiction. We'll also watch some filmed works related to texts. Brief lectures on literary studies and other relevant subjects will be also given incidentally.
5. 学習の到達目標：ドイツ文学作品の読解力が向上すること。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will improve the ability to read and interpret literary texts written in German.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 導入
 2. テキスト講読 (1)
 3. テキスト講読 (2)
 4. テキスト講読 (3)
 5. テキスト講読 (4)
 6. テキスト講読 (5)
 7. テキスト講読 (6)
 8. テキスト講読 (7)
 9. テキスト講読 (8)
 10. テキスト講読 (9)
 11. テキスト講読 (10)
 12. テキスト講読 (11)
 13. テキスト講読 (12)
 14. テキスト講読 (13)
 15. まとめ
8. 成績評価方法：

おおむね、予習と授業への参加 (80%) とレポート (20%)
9. 教科書および参考書：

テキストは教師が準備します。
10. 授業時間外学習：毎回、事前に訳読の準備をして出席してください。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
 - ・質問その他の連絡は、以下のアドレスへ。 xkc-m2rt@tohoku.ac.jp (◎を@に変更)
 - ・授業は原則として対面で実施します。リモートに切り替える場合は、Google Classroom で告知します。
 - ・オフィス・アワーは特にもうけません。随時、個人的な質問・相談・雑談など受けつけます。上記のアドレス宛に連絡してアポを取ってください。教員研究室は、川内北地区・国際交流棟 (アクセスマップ A12) の 2 階です。

科目名：ドイツ文学演習Ⅳ／ German Literature (Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：森本 浩一

コード：LB65404, 科目ナンバリング：LHM-LIT326J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：カフカを読む (2)
2. Course Title (授業題目)：Reading Kafka (2)
3. 授業の目的と概要：フランツ・カフカ (Franz Kafka: 1883-1924) の小説をテキストとして、ドイツ文学作品を原文で読解・解釈する訓練を行います。映画化された作品も鑑賞する予定です。文学研究や他の関連する話題に関する簡単な講義なども行いたいと考えています。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students improve the ability to read and interpret the literary text written in German, by the practice of close reading of Franz Kafka's fiction. We'll also watch some filmed works related to texts. Brief lectures on literary studies and other relevant subjects will be also given incidentally.
5. 学習の到達目標：ドイツ文学作品の読解力が向上すること。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will improve the ability to read and interpret literary texts written in German.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 導入
 2. テキスト講読 (1)
 3. テキスト講読 (2)
 4. テキスト講読 (3)
 5. テキスト講読 (4)
 6. テキスト講読 (5)
 7. テキスト講読 (6)
 8. テキスト講読 (7)
 9. テキスト講読 (8)
 10. テキスト講読 (9)
 11. テキスト講読 (10)
 12. テキスト講読 (11)
 13. テキスト講読 (12)
 14. テキスト講読 (13)
 15. まとめ
8. 成績評価方法：

おおむね、予習と授業への参加 (80%) とレポート (20%)
9. 教科書および参考書：

テキストは教師が準備します。
10. 授業時間外学習：毎回、事前に訳読の準備をして出席してください。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
 - ・質問その他の連絡は、以下のアドレスへ。xkc-m2rt@tohoku.ac.jp (◎を@に変更)
 - ・授業は原則として対面で実施します。リモートに切り替える場合は、Google Classroom で告知します。
 - ・オフィス・アワーは特にもうけません。随時、個人的な質問・相談・雑談など受けつけます。上記のアドレス宛に連絡してアポを取ってください。教員研究室は、川内北地区・国際交流棟 (アクセスマップ A12) の 2 階です。